

第35回豊の国ねんりんピック 美術展 入選作品

審査日：令和6年5月13日

〔日本画の部〕

応募作品数 18点 (招待作品1点含む)

賞	題名	作者	市町村	総評
最優秀賞	冬来たりなば	中山 スエ子	大分市	昨年につき、作品数が減少しているのが残念です。 最優秀賞の2点は、よく描き込んでいて、完成度が高い。 水墨画の2点は、墨の色と余白の白がバランスがとれている。全体としては、どの作品も力強くよく描かれている。 (審査員：大分県美術協会 高木悦子、藤野啓子)
	奏	辻嶋 玲子	大分市	
優秀賞	陽だまりの径	松田 鎮明	大分市	
	生きる	石井 功江	大分市	
審査員特別賞	秋の詩	衛藤 昌子	大分市	
	荒城の月	鈴木 信孝	大分市	

〔洋画の部〕

応募作品数 71点 (招待作品1点含む)

賞	題名	作者	市町村	総評
最優秀賞	刻の譜	首藤 清子	大分市	風景、人物、動植物等の具象画や抽象表現、心象表現等の内面世界を追究した個性ある作品が寄せられた。 油彩、水彩が多い中、鉛筆、木炭でしっかり表現された作品も目をひいた。全70点の作品は魅力的で制作の喜びが伝わってくる。 (審査員：大分県美術協会 山崎哲一郎、池部俊之)
	古い風	津田 美矢子	佐伯市	
優秀賞	「お姉ちゃんにまかせて」	首藤 サチ子	大分市	
	はぐれ狼	ラーセン 保恵 三野	豊後高田市	
審査員特別賞	外苑	渡邊 文一	大分市	
	暮れゆく秋	清水 勝之助	大分市	
	悠久の憂い	廣石 可祝	大分市	
	漁に生きる友	糸永 光	国東市	

〔彫刻の部〕

応募作品数 7点 (招待作品1点含む)

賞	題名	作者	市町村	総評
最優秀賞	思う	山崎 設治	別府市	前年より2点出品が増えた。 素材も木、紙、ブロンズ、また着色や素材の色を生かしたものなど作家の工夫、アイデアが見られた。 どの作品も技術的に高く丁寧で細かい部分までしっかり制作していることが共通している。 (審査員：大分県美術協会 林淳一郎)
	竹あかり 灯ろう	川端 辰雄	別府市	
優秀賞	フクロウ	鈴木 誠一	日田市	
審査員特別賞				

[工芸の部]

応募作品数 28点

賞	題名	作者	市町村	総評
最優秀賞	学び舎の記憶	内田 孝久	大分市	今年も竹・木・紙・布・土・皮・糸等用いた、手の込んだ手仕事が見られて大変感心させられました。 今後も作品作りを通じて心豊かな生活をお過ごし下さい。 (審査員:大分県美術協会 安達俊治、芳賀信幸)
	曼荼羅模様	中島 みち子	大分市	
優秀賞	椿	小島 博美	大分市	
	灰釉花器	渡辺 道明	大分市	
審査員特別賞	一輪ざし(トルコ青マット釉)	池田 美代子	別府市	
	花器	阿部 治行	大分市	
	廃材からの仲間たち	立花 きよ子	日田市	
	豊後絞り	佐藤 小夜	大分市	

[書の部]

応募作品数 33点

賞	題名	作者	市町村	総評
最優秀賞	漢詩	瑤林	大分市	皆さんが楽しく書制作に取り組んでいる姿を作品から感じとれました。白と黒の世界での表現ですが6部門の中で“一字書”・“かな”・“調和体”も“漢字”以上の出品作品が来年は増えることを期待しています。 (審査員:大分県美術協会 中尾春照、後藤青雲)
	若山牧水の歌	小野 八重子	大分市	
優秀賞	動	山本 紫水	国東市	
	秋日江居寫懷	中嶋 英子	大分市	
審査員特別賞	古風	児玉 和恵	大分市	
	韋員外の家の花樹の歌	岡 浩子	中津市	
	高青邱詩	土屋 和男	大分市	
	漢詩	岩男 董美	大分市	

[写真の部]

応募作品数 36点 (招待作品2点含む)

賞	題名	作者	市町村	総評
最優秀賞	干潟の景	佐藤 清馬	大分市	今回、作品のジャンルは色々あり良いのですが、もう少し力強い写真も欲しいなという思いもしました。 全体的には拮抗された出品作品になっていると思います。 (審査員:大分県美術協会 安東道明、戸崎恵子)
	祈願	牧 ツヤ子	別府市	
優秀賞	祭り終わって	田中 友昭	国東市	
	無一物	後藤 秀彦	佐伯市	
審査員特別賞	早春の湖霧	林 寿徳	竹田市	
	水行会	空閑 正義	別府市	
	少女	八坂 ミヨ子	別府市	
	発芽待	足立 哲伸	豊後大野市	

※敬称は、省略させていただきました。